

通信

ともに

第40号



2016年9月23日発行

発行者/認定NPO法人ともに
住所 〒044-0053 虻田郡俱知安町北3条西2丁目
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com
公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

廃油石けん～助成金で製作もスムーズに

第35号でお伝えした共同募金会の助成金で廃油石けんづくりの器具一式を購入しました。新しい器具で作製した最初の石けんが順調にできています。製作の工程を3か月にわたって追いました。



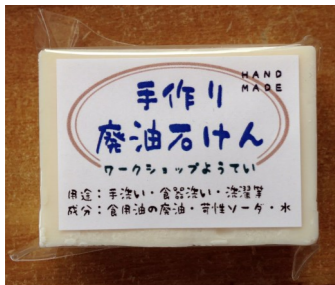
6月、廃油、水と苛性ソーダを混ぜる。機械により仕事がスムーズ



混ぜた材料をすぐ型枠に流し込む



8月、型から取り出して切り分け、さらに乾燥させる



酸化を防ぐため、空気を入れないよう袋づめも工夫しました

今回から水と油の割合を調べなおし、水分量多めと少なめの2種類つくってみました。多めのほうは材料がよく混ざり合った反面、3か月たった今でも完全に乾燥できていません。一方水分量が少なめのほうはよく乾燥し、形もきれいにできました。汚れの落ち具合も実際に洗って試してみました。型枠を替えたことで内容量は小さくなりましたが、**一個80円**と値下げもしました。いろいろ検討しながら良い製品づくりに努めています。これからも変わらないご愛顧をよろしくお願いいたします。

精神科医 土田正一郎の

診察室で
考えて
いること(仮)

その29

本能

ジョギング中に、よくキツネに出会う。エキノコックス*4が心配なので手を振るくらい関係だが、この時期(6月下旬)、子ぎつねもいるので賑やかである。私の走っている進行方向に子ぎつねがいたが、そのとき横の藪が常ならず「ざざっ、がっさ」と音を立てた。「熊?」と100分の1秒ばかり頭をよぎって、振り返ると目の前にいた子ぎつねより大きなキツネが藪から出てきた。私はキツネとは友好的に付き合いたいが、残念ながらキツネ語は喋れない。親ぎつねはきっと私が子ぎつねに危害を加えると心配して、わざわざ大きな音を立てたのだろう。子を守る親の本能だろう。ヒトは果たして進化しているのだろうか。その方向の進化で大丈夫か?と考えた。
ともに顧問(自称)

編集後記

若い人の間で「それな」という言葉が使われています。「そうだね」という意味だそう。言葉にしっかりこないのは私がトシをとったから?でもそういった若者言葉は仲間間で使っても、フォーマルな場面では使わないとのこと。若い人も実はしっかりしてるんです。(かわさき)

各事業報告～8月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行3人、継続B19人 見学/2人 体験/1人
- ◆グループホームよろこび 利用者/20人(定員21人) 見学/0人、体験/0人
- ◆法人会員 正会員21人、賛助会員 団体3 個人85人
- ◆寄付物品 牛乳パック
- ◆今年度寄付金 のべ1団体6人 84,000円

今月の一枚



阿波踊り*1
くくちゃん福祉まつり

K. S. C. Juntos

第1回 ともにカップ開催決定!

ジュントス

ともにのフットサルクラブ「K.S.C. Juntos」が発足して最初の大会「ともにカップ」を10月30日に開催することが決まりました! 俱知安町内の福祉事業所チームや札幌からも参加の申し込みがあり、熱い戦いになりそうです。

試合結果とその様子については後日通信ともにでお伝えしますので、楽しみに。

開催日 10月30日 [日] 午前10時～
開催場所 旧俱知安町立東稜中学校
(俱知安町北6条東9丁目2番地)
参加チーム K.S.C. Juntosほか4チーム予定



Juntos 支援募集のお願い



Juntosは毎週金曜日、旧東稜中学校体育館で練習に汗を流しています。先日は練習試合もしました。

大会に出場するためにはユニフォームが必需品です。しかし今資金が不足して調達できていません。

障がい者支援と地域交流の促進にはみなさまのご支援が必要です。ぜひチームサポーターになっていただき、チームを応援してください! 詳しくは法人事務室まで

「わっくわく祭り」の報告は、次回第41号でお伝えします。

講演会・研修会活動 **みん学～車いすで生活すること**

8月28日の「みんなで学ぼうシリーズ」は、当法人職員のながおかが、車いす生活の実体験を踏まえた講演「車いすのこと、僕のこと、そして…～車いす生活の秘密～」として、車いすを実際に動かしている様子や、風呂やトイレでの移動・移乗の映像を流しながら話しました。

講演後の試乗会では参加者が車いすに乗った状態での移動の大変さ、周りに物があると移動しにくい感覚を体験しました。



講演中動画で公開した車いすでの移動の様子(上り坂の場面)



車いすの試乗会

講師をつとめて～ながおか

自分についてあまり話したくないこともありましたが、ありのままの自分の体について話したつもりです。人に知られたくないことは誰だってあります。しかしそういつたことを伝えないと自分の苦勞、悩みを知ってもらうことができないと思うのです。自分のことを知り、理解してもらえることで、みんなが安心して暮らせたいと思っています。私が勇気を出し話すことで自分自身が安心した生活や仕事をすることができています。今の生活がしづらいついか、生きづらいつと思っている人たちが自分の話で勇気を出してもらえたらと思いました。

今回のテーマを提案した方の感想

今回ご本人の実体験を聴けたことで、車いす生活の苦勞を知ることができたのが良かったです。「みん学」は参加者が聞きたいテーマを提案できるので、これからも提案してみたいと思います。

後志地区就労経験交流会

9月10日、小樽市民センターで障がい者就労・生活支援センターひろば主催の「後志地区就労経験交流会議研修会」が開かれ、「医療から発信する精神障がいとは」をテーマにワークショップようてい利用者のEさんが当事者発表で参加しました。

Eさんは以前引きこもりをしていた経験やこれからどうしていきたいかを、かみよ職員が聞き手になってインタビュー形式で話しました。緊張なく丁寧な語り口で堂々と話していました。参加者からはEさんの落ち着いた話が聞きやすかったなどの意見が聞かれ、Eさんにとっては自信につながったようです。



障がい者就労支援事業所ワークショップようてい **くっちゃん福祉まつり～商品開発で売り上げ過去最高！**



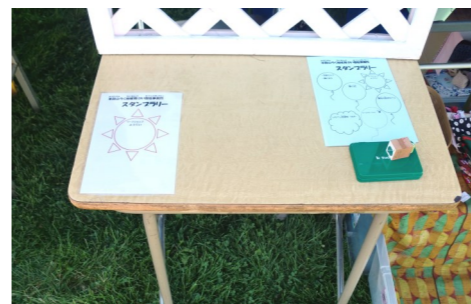
8月28日、倶知安町社会福祉協議会主催、恒例のくっちゃん福祉まつりが文化福祉センター中央公園で開かれました。第34回となった今回も好天に恵まれてたくさんの方が訪れ、倶知安たんぼの会とワークショップようていのテントも多くの方にご利用いただきました。今年は調理部が初めて焼き菓子やスピードくじを販売し、合計売り上げは過去最高になりました。ご利用いただいたみなさんありがとうございました。



農業部の農作物は開始直後から飛ぶように売れました



調理部はオートミールクッキーとマドレーヌを製作販売するなど初めての試みでした



昨年に引き続き「知ってる会*3」のスタンブラリーに協賛しました



製造部は手工芸商品をバックにし、お求めやすいセット価格で販売しました

各部門の売り上げ	調理部	41,990円
	農業部	25,800円
	製造部	10,730円
	合計	78,520円 (昨年比+29,820円)

農薬を使わない苦勞と工夫

(左上是拡大写真)



キャベツ 防虫ネットを張った



ワークショップようてい農業部の圃場では、いま大根とにんじんが成長しています。実はこの秋大根を植えている場所は、5月に小豆を植えていました。たい肥についていた虫が種を食べてしまい小豆は芽が出ず全滅。急ぎょ7月に大根を植えました。昨年またたい肥を使い良い小豆が収穫できていたので、今年は春先の天候不順が影響したようです。またじゃがいも「とうや」も出来が良くなく、収量が少なかったため早めに完売しました。一方、キャベツは農薬を使わないと虫がかなりつくのですが、防虫ネットを張ったことで虫よけに成功しすべて順調に育っています。

当圃場の野菜は農薬を使わず育てているので、天候や虫、病気に左右されますが試行錯誤でがんばっています。